

# 「砂防堰堤探検隊」 出動しました

○開催日時：平成27年6月10日（水）、26（金）、7月2日（木）、3日（金）  
いずれも 9：20～13：50

○実施場所：岩手山火山防災ステーション「イーハトーブ火山局」  
焼走り溶岩流、小水無沢第1砂防堰堤、松川流路工

○参加学校： 6月10日（水） 滝沢市立 滝沢東小学校 4年生 51名  
6月26日（金） 滝沢市立 姥屋敷小学校 3～4年生 3名  
7月 2日（木） 滝沢市立 一本木小学校 4年生 21名  
7月 3日（金） 雫石町立 西根小学校 4年生 7名

岩手河川国道事務所・岩手県・滝沢市・雫石町は、岩手山周辺の小学校3～4年生を対象とし、活火山岩手山における自然災害（火山災害、土砂災害）と土砂災害から人命と財産を守る「砂防」について正しい知識を普及することを目的として、「砂防堰堤探検隊」を開催（今年で20回目）致しました。

イーハトーブ火山局内では、DVDを見ながら土砂災害について説明し、土石流模型実験を行いました。また、岩手県立大学伊藤教授によるキッチン火山実験の実演により、火山噴火について学びました。その後児童たちは、バスに乗って現場へと移動。焼走り溶岩流や小水無沢第1砂防堰堤、松川流路工を見学しました。

参加した児童からは、

「クイズをしながら岩手山の事を楽しく知ることが出来てよかった。」

「岩手山が噴火した事があるのを初めて知った。これから気をつけたい。」

「砂防堰堤が町に被害を出さないようにしてくれている事が分かった。」

「土砂災害が起きた時の対策や、山が噴火した時の対策を、色々な人に伝えたい。」

「噴火の事を自由研究で発表したい。」

など、沢山の感想を頂きました。ありがとうございました。

今回の探検隊をとおして、児童は岩手山の火山の事や砂防堰堤の仕組みについて楽しみながら学習し、また、いざという時は安全な避難場所へ逃げる事も学んだようでした。



イーハトーブ火山局で出発式



山影調査第一課長による土砂災害の説明



岩手県立大学伊藤教授による  
「キッチン火山実験」の実演



クイズに挑戦しながら、  
岩手山の事を楽しく学びました



「土石流模型実験」で砂防堰堤の役割を学習



岩手山「焼走り溶岩流」の見学



「小水無沢第1砂防堰堤」の見学



「松川流路工」の見学



修了証の授与



全員で記念撮影